

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市太白障害者福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 5,193人（前年度比51.3%） ・令和元年度 10,131人（前年度比99.2%） ・平成30年度 10,210人（前年度比100.7%） <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貸館事業：障害者の自主的な活動及び障害者の福祉に関する市民の自発的活動のための施設の提供その他の援助 ○障害者の福祉に関する講習会の開催その他福祉に関する啓発活動 ○障害者福祉センターの運営管理
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 26,826千円 (26,319千円) ・ その他市が負担した費用 750千円 (1,420千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 千円 (千円) ・ その他収入 千円 (千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケートは平成20年度から実施。今年度の回答件数は97件。挨拶、言葉づかい、説明、身だしなみ、清潔、印象の6項目について5段階評価。全項目で平均4点以上と高い評価を得ている。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	協定書及び仕様書に則った管理運営がなされている。センターの事業推進については、館内法人との打合せを行い、条例や運営要領、基本方針等の共有理解を図っている。また、障害当事者と協力しながら、地域の障害者福祉の中心的な役割を果たしている。	24/24
II 施設の運営管理体制	センター内の法人の枠を超えてミーティングや会議を重ね、事業間での連携体制構築を図りながら、適切な運営が行われており、個人情報や情報セキュリティについても、研修やマニュアル作成等により職員への周知を図っている。 また、災害発生時に備え、職員の行動マニュアル策定や、避難訓練を実施しており、近隣施設や地域との連携にも努めている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	清掃委託業者のみならず、職員も保守点検チェックシートに基づき、定期的に館内を巡回し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する取組みが行われている。 また、仙台市環境行動計画を基に節電、節水、ごみの減量等に取り組むなど環境に配慮した取組みを進めている。	24/24
IV サービスの質の向上	広報誌を市内行政機関、関係機関なども含め広く配布し、積極的にセンターの周知活動を行っている。意見箱の設置やアンケートの実施をし、アンケートの内容に対しては対応策を含めた回答を公表している。 全職員を対象に外部講師による接客研修等を通して接客マナーの向上に努めている。利用者アンケートでも全ての項目において平均4点(満足)以上と高い評価を得ている。	28/28

V 施設固有の基準	<p>日常的に敷地内の点字ブロックや通路等を点検し、利用者にとって利用しやすくなるよう、施設の維持管理を行っている。</p> <p>講座等の募集時、町内会の回覧板や市政だよりを含め、広く周知している。また講習会や啓発活動を行った後は、毎回アンケートを実施し、障害の有無に関わらず幅広く障害福祉の普及に向けて企画できるよう、ニーズの把握に努めている。</p>	<p>9/9</p>
------------------	--	------------

三 評価総括

《指定管理者（仙台市障害者福祉協会）による自己評価》
<p>仙台市太白障害者福祉センターでは事業の実施にあたり、同居している仙台市手をつなぐ育成会、就労継続支援（B型）事業所せんしょう庵（以下「せんしょう庵」）と合同でセンター運営会議を毎月開催し、課題の共有と解決を図り一体的な事業の実施に取り組んだ。</p> <p>当センター利用者や地域住民などが集える場として喫茶スペースを活用できるよう、せんしょう庵と連携を図りながら作品展示スペースを設置し、自立訓練や生活介護事業、せんしょう庵及び近隣の福祉施設をご利用の方の作品展示を通年行い、障害のある方の芸術活動の発表の場を設けた。また、美化環境の維持と地域貢献の一環として、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、センター付近の清掃活動を毎週行った。</p> <p>災害時の福祉施設の利用者の避難を円滑に行うため、避難訓練に合わせて福祉避難所の開設訓練を年に2回実施した他、仙台市地域防災計画に基づく垂直避難訓練を1回実施した。また「市民防災の日」にシェイクアウト訓練を実施し、当センターの自立訓練利用者、職員及び貸館利用者など、総勢44名が参加した。貸館については貸館利用団体の会員構成や活動状況を鑑み、「貸館利用団体ガイド」を100部発行して貸館団体の活動を広く地域に紹介するなど、会員募集等の支援を行った。</p> <p>今後も利用者へのサービス向上にとどまらず、障害者福祉の拠点施設と災害時の福祉避難所としての役割を果たしていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設内の他法人との連携を図りながら、協定書及び仕様書に基づいた適切な施設の管理運営がなされている。</p> <p>また、今年度はコロナ禍により一部実施が難しかったが、センター内にとどまらず、町内会や民生委員、近隣学校と連絡調整を行ったり、適宜アンケート等で希望等を把握しながら、地域住民を広く対象とした各種講座やイベントの開催、福祉学習の実施、職場体験学習の受入れを継続して行ない、障害者福祉の普及啓発に努めている点で、施設の設置目的を果たしていると高く評価できる。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課